

なおみ



御野場病院のあゆみ

昭和50年12月	法人設立、理事長 小林尚壬就任	平成18年 5月	回復期リハビリテーション病棟 32床
昭和53年 6月	現在地に御野場病院開設 (内科)127床 初代院長 武者傳治郎 就任	平成19年11月	回復期リハビリテーション病棟 36床に増床
昭和58年 3月	特例許可老人病院	平成20年11月	回復期リハビリテーション病棟 入院料1
昭和59年 6月	病床数130床に増床	平成21年 4月	医師臨床研修協力施設
昭和61年 9月	増改築工事152床に増床	平成21年 7月	第2代理事長 三浦莊治就任
平成 4年 8月	増改築工事(特殊浴室、機能訓練室)	平成23年 3月	回復期リハビリテーション病棟 41床に増床
平成 5年 1月	第2代院長 小林尚壬 就任	平成23年 4月	第7代院長 三浦邦夫 就任
平成 7年 7月	増改築工事(療養型病床群152床) 第3代院長 柳生昭 就任	平成23年 7月	広報誌「なおみ」創刊
平成 8年 7月	増築工事(CT室、薬局)	平成24年 1月	日本医療機能評価機構 認定病院 (審査体制区分2: Ver.6.0)
平成10年 9月	御野場訪問看護ステーション開設	平成24年 9月	在宅療養支援病院「機能強化型」
平成11年 9月	増築工事(機能訓練室、デイケア室)	平成25年 8月	回復期リハビリテーション病棟 45床に増床
平成12年 4月	療養病床(医療療養、介護療養) 152床 居宅介護支援事業所、ホームヘルパーステーション、 通所リハビリテーション開設	平成26年 4月	第7代院長 皆河崇志 就任
平成13年 1月	第4代院長 神崎正夫 就任	平成26年 5月	第3代理事長 皆河崇志 就任
平成13年 8月	第5代院長 小林尚壬 就任	平成26年12月	電子カルテシステム導入
平成15年 4月	第6代院長 三浦莊治 就任	平成28年 8月	療養病棟内に地域包括ケア病棟を 設置(19床)
平成16年 1月	診療科目(内科、リハビリテーション科)	平成28年10月	診療科目(内科・神経内科・リハビリテーション科)
平成16年 4月	日本赤十字秋田短期大学老年看護学実習病院	平成29年 3月	日本医療機能評価機構 認定病院 主機能 慢性期病院 認定2回目 副機能 リハビリテーション病院 (機能種別版評価項目3rdG: Ver.1.1)
平成17年11月	御野場病院在宅ケアセンター開設(別棟) (デイサービス、訪問看護ステーション、ホームヘルパーステーション、居宅介護支援事業所)	平成29年 5月	地域包括ケア病棟 33床

理念

安全・信頼・連携・地域密着

私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスの提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

「信頼され、選ばれる病院を目指して」





前理事長 三浦莊治先生 13年間ありがとうございました。

平成15年から13年間御野場病院を支えてくださった三浦莊治先生が、退職されました。3月下旬に開催された「三浦莊治先生を送る会」では、先生の周りにたくさんの職員が集まり、とても楽しそうにお話しされていました。送る会の最後には、莊治先生が今まで経験されてきた秋田の医療のこと、ご自身の医師人生のこと、これからの秋田の医療、これからの御野場病院について、興味深い話をいくつもしていただきました。莊治先生は平成15年に当院院長に就任され、平成21年には理事長に就任されました。先生が御野場病院とともに歩んだ13年、様々なドラマがあったと思います。院内のルールが決まる時、決め手となる出来事があったり、患者さんとのおもしろいエピソードがあったりと、送る会でも、私たちに伝えたいメッセージがまだまだたくさんあるようでした。御野場病院を出発される時は、病棟・各部署を訪室され、挨拶をして行かれました。サヨナラではなく、バンザイで挨拶を締められたところも、先生らしさを感じられるところでありました。

13年間御野場病院を支えていただき、本当にありがとうございました。



Onoba Cafe

当院回復期リハビリ病棟で、おのばカフェを開催しました。入院中の患者さんにゆったりとしたティータイムを過ごしていただくために、病棟スタッフが考案したものです。患者さん同士いっしょにテレビを見たり、お話をしたり、和やかな雰囲気でも過ごされておりました。



第8回

南部圏域の地域包括を考える会

なんケアの会

テーマ

在宅生活を支えるために、私たちができること
パーキンソン病の事例から考える

開催日時：平成29年4月13日開催



第8回南部圏域の地域包括を考える会「なんケアの会」が開催されました。今回のテーマは、在宅生活を支えるために、私たちができること—パーキンソン病の事例から考える—でした。

皆様お忙しいところ足を運んでいただき、約38名の方々にお越しいただきました。事例紹介は、当院副院長の石黒先生、虹の町居宅介護支援事業所 管理者 主任介護支援専門員の柴田様、当院通所リハビリ担当理学療法士松永さんの3名にさせていただきました。事例紹介後のグループディスカッションでは、調剤薬局の方からも質問があり、患者さんの処方後の動向など、意見交換が行われました。



辞令交付式

4月に入り、新入社員と昇任社員への辞令交付が行われました。春風とともに、御野場病院に新しい仲間が来てくれました。ともに気持ち新たにがんばっていきましょう。



ほほえみサロンおのば

地域の方々に「認知症」について学んでいただいたり、認知症の方やそのご家族、認知症について知りたい方に講演やレクレーションなどを通じて学んでいただいたりするカフェ形式のコーナーです。

運動や寸劇など、楽しく参加していただけたようで、前回開催も大変好評でした。先生への相談コーナーも設けております。飲み物やお菓子も無料で用意しておりますので、お気軽にご参加いただければ幸いです。

今回は、「御所野地域包括支援センターけやき」職員の皆さんによるお芝居と、恒例の脳活体操を予定しております。参加は無料ですので、皆様お気軽にご参加ください。お席に限りがある場合がございます。事前にご連絡いただければ幸いです。



連絡先 御野場病院 TEL 018-839-6141 (佐々木・松村・荒川)

栄養科より

4月の茶話会とランチデーについて ご紹介いたします。

春といえばお花見ですね。入院患者さんにもお花見気分を味わってもらおうと、4月は花見をテーマにそれぞれメニューを考えました。

茶話会では3色花見団子をご用意しました。

口どけなめらかな花見団子は、嚥下機能が弱っている患者さんも安心して食べることができました。桜・よもぎ・黒ゴマの3種の味を存分に味わっていただきました。

ランチデーでは、若鶏八幡巻き、タラの芽の天ぷらなどを提供しました。

ビールに見立てたビール風りんごゼリーで気分はすっかりお花見、ほろ酔い気分でした。ランチデーとなりました。

